

15 環境にやさしい、持続可能な“すみだ”へ ゼロカーボンシティの 実現に向けた取組

予算額(新規・拡充)
28,130千円
(1)環境保全課25,000千円
(2)すみだ清掃事務所3,130千円

問合せ
環境担当参事
三浦 博司 内線5461
すみだ清掃事務所長
高村 弘晃 電話5608-6922

資料6

1 目的

区民・事業者・区が力を合わせて、環境にやさしい行動を加速させることで、2050年カーボンニュートラル及びSDGsの目標達成をめざす。

2 主な事業内容

(1) 地球温暖化対策助成事業費【25,000千円】(拡充)

新たに電気自動車所有者の必須アイテム「家庭用充電設備」と電力供給のひっ迫時や災害時に活躍する「ビークル・トゥ・ホーム(※)」導入への支援を開始(拡充予算 5,950千円)
自宅に太陽光発電システムがなくても助成対象とすることで、電気自動車の普及を加速させる。

拡充助成対象設備	予定件数	上限額	予算額
EV自動車用充電設備	26件	75千円	1,950千円
ビークル・トゥ・ホーム	10件	400千円	4,000千円

※ ビークル・トゥ・ホーム(V2H)
電気自動車(EV)等に搭載された電池から家庭に電力を供給できる機器

(2) 資源循環・地域連携促進補助金の創設【3,130千円】(新規)

ゼロカーボンシティ実現に結びつく先進的な資源循環事業に関する地域の取組との協働を進め、事業化に向けた補助金を支給する。

主なSDGs目標



3 事業イメージ・その他

(1) 地球温暖化対策助成事業費

墨田区のCO₂排出量は、**107万1千t**(2019年)
そのうち、自動車からの排出量が**約15.5%**

ガソリン車から電気自動車に
乗り換えると...

CO₂削減量(1台)
約90kg/年



充電設備の一例

【電気自動車のメリット】

- 走行中に排気ガスを出さず、環境にも健康にもやさしい！
さらにグリーンエネルギーで充電すればCO₂排出ゼロ
- ガソリンよりも安価な電気を使うので経済的！ など



自動車から家庭に電気を供給！

ビークル・トゥ・ホーム(V2H)のイメージ

(2) 資源循環・地域連携促進補助金の創設



ゼロカーボンシティの実現に向けて、地域と一緒に取り組めます！